

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域の生活環境の向上による「住みやすさが実感できるまちづくり」

[illegible]

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

平成31年01月31日

計画の名称	地域の生活環境の向上による「住みやすさが実感できるまちづくり」													
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	立山町													
計画の目標	地域の安全性向上や交流促進等につながる道路整備とともに、これらと相乗効果が期待できる生活環境整備等を実施することにより、「住みよさが実感できるまち」を形成する。													

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	・交通事故発生件数を、平成31年から平成35年度までに約3%減少する。 各年の立山町の交通事故発生件数から、減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（H31交通事故発生件数－評価時点の交通事故発生件数）／（H31交通事故発生件数）	0%	1%	3%

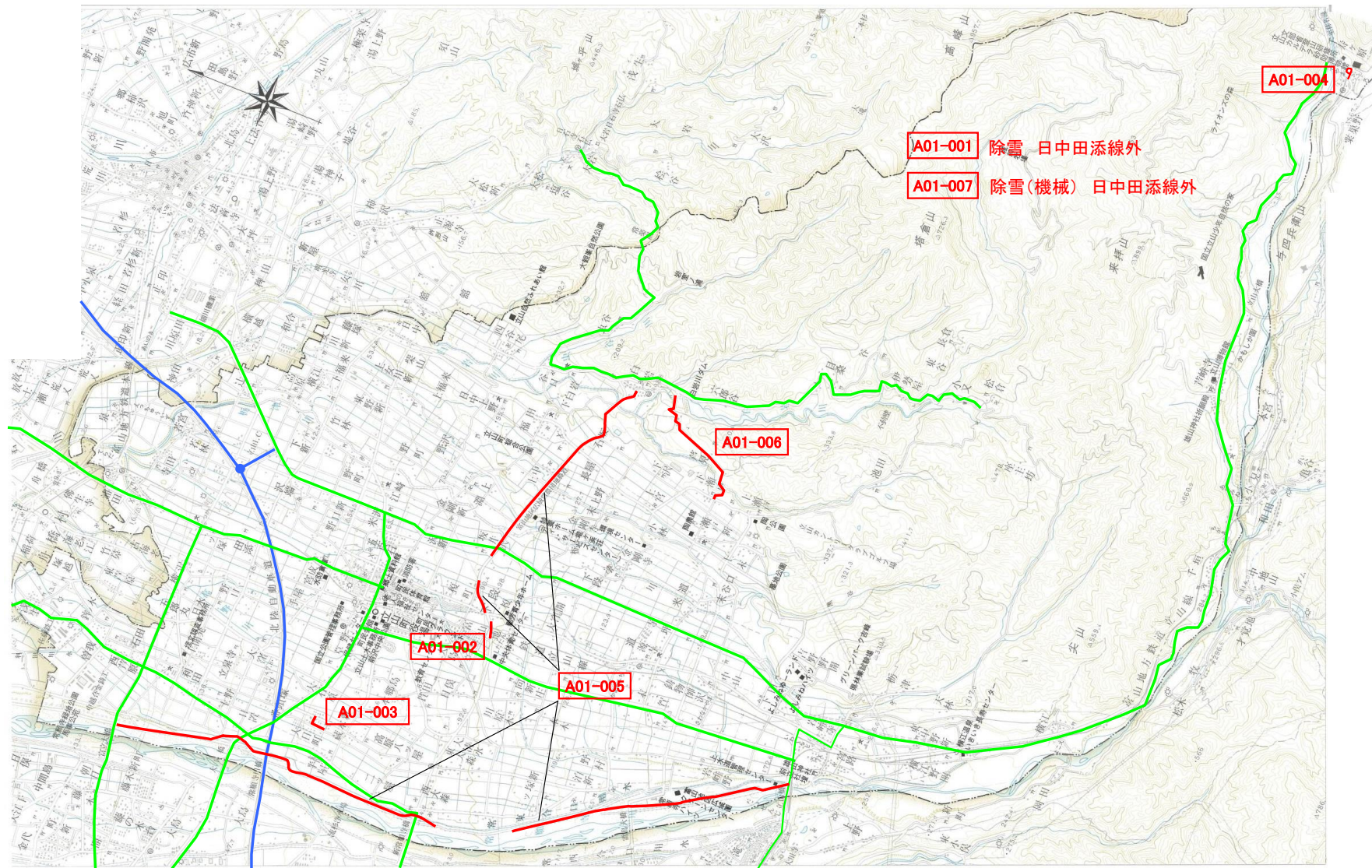
備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	除雪	（１）日中田添線外	除雪 124.7km	立山町	■	■	■	■	■	192		－
	A01-002	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	雪寒	（他）坂井沢大清水線外 榎外	消雪更新 1式	立山町	■	■	■	■	■	183		－
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）大石原蔵本新線外 大日町外	現道拡幅 3.65km	立山町	■	■	■	■	■	112		－
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）千寿ヶ原ロータリ 一線外 千寿ヶ原外	現道拡幅 0.45km	立山町	■	■	■	■	■	90		－
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）利田日置線外 利 田外	現道拡幅 11.02km	立山町	■	■	■	■	■	155		－
	A01-006	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（１）白岩新瀬戸線 芦 見外	路肩拡幅 2.00km	立山町	■	■	■	■	■	30		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	除雪（ 機械）	（１）日中田添線外 端外	除雪機械購入等	立山町	■	■				43		—
											小計						805		
											合計						805		

(参考図面)

計画の名称	9 地域の生活環境の向上による「住みよさが実感できるまちづくり」	交付団体	立山町
計画の期間	令和元年度～令和5年度（5年間）		



— A01 基幹事業

交付金の執行状況

(単位：千円)

	H31	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	52,926	67,730	34,597	38,400	42,500
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	52,926	67,730	34,597	38,400	42,500
前年度からの繰越額 (d)	12,843	25,610	5,091	9,765	14,078
支払済額 (e)	40,159	88,249	29,923	34,087	47,377
翌年度繰越額 (f)	25,610	5,091	9,765	14,078	9,201
うち未契約繰越額 (g)	4,511	5,091	9,765	14,078	9,201
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	7%	5%	25%	29%	16%
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	設計協議の調整が難航したため	設計協議の調整が難航したため	設計協議の調整が難航したため

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月05日

計画の名称	地域の生活環境の向上による「住みやすさが実感できるまちづくり」														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	立山町														
計画の目標	地域の安全性向上や交流促進等につながる道路整備とともに、これらと相乗効果が期待できる生活環境整備等を実施することにより、「住みよさが実感できるまち」を形成する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		805	A	805	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	・交通事故発生件数を、平成31年から平成35年度までに約3%減少する。 各年の立山町の交通事故発生件数から、減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（H31交通事故発生件数－評価時点の交通事故発生件数）／（H31交通事故発生件数）	0%	1%	3%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	除雪	（１）日中田添線外	除雪 124.7km	立山町	■	■	■	■	■	192		－
	A01-002	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	雪寒	（他）坂井沢大清水線外 榎外	消雪更新 1式	立山町	■	■	■	■	■	183		－
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）大石原蔵本新線外 大日町外	現道拡幅 3.65km	立山町	■	■	■	■	■	112		－
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）千寿ヶ原ロータリ 一線外 千寿ヶ原外	現道拡幅 0.45km	立山町	■	■	■	■	■	90		－
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）利田日置線外 利 田外	現道拡幅 11.02km	立山町	■	■	■	■	■	155		－
	A01-006	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（１）白岩新瀬戸線 芦 見外	路肩拡幅 2.00km	立山町	■	■	■	■	■	30		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	雪寒	立山町	直接	立山町	市町村 道	除雪（ 機械）	（1）日中田添線外 沢 端外	除雪機械購入等	立山町	■	■				43		—
											小計						805		
											合計						805		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
立山町 建設課	令和7年3月
	公表の方法
	立山町ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幹線町道である1・2級町道を軸とした町道改良事業に取り組むことで、円滑な通行と安全性、利便性の向上、広域連携強化等が図られ、計画の目標である「住みよさが実感できるまち」の形成に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	3%	道路改良によって安全性が向上し、他計画と連携することにより効果が向上した。
	最 終 実績値	17%	